

1. 研究課題名

体幹部定位放射線治療を施行したオリゴ転移の ESTRO EORTC コンセンサスに基づく遡及的研究

2. 試料・情報

(1) 利用目的

本研究は少数個の遠隔転移（オリゴ転移といいます）を有する患者さんにおいて、転移病巣に対する体幹部定位放射線治療（SBRTと略します）の有効性と安全性について、これまでの治療内容を振り返って検討することを目的としています。本研究の成果によって、より多くの患者さんに対して適切に SBRT が施行されることにつながると考えています。この結果は 2023 年 11 月に開催される日本放射線腫瘍学会で発表する予定です。

(2) 利用項目、提供方法

本研究は 2020 年 4 月から 2023 年 6 月の間に、オリゴ転移を有する方に対して施行された SBRT の内容とその効果、および副作用について、診療記録を利用して解析を行います。利用する情報は患者さんの年齢、性別、原疾患、照射部位、照射線量、照射後の画像評価などで、利用を開始するのは本研究が承認された日以降です。

(3) 利用する者の範囲

日本赤十字社医療センター

放射線腫瘍科部長 野中哲生（研究責任者）

同医師 後藤雅明（共同研究者）

脳神経外科副部長 香川賢司（共同研究者）

(4) 管理責任を有する者の名称

日本赤十字社医療センター

3. 参加を希望されない場合等

本研究への参加を希望されない場合や本研究参加についてのご相談がある場合は、以下へご連絡ください。本研究への参加を希望されない場合でも、不利益を被ることはありません。

4. 問い合わせ先

日本赤十字社医療センター

〒150-8935 東京都渋谷区広尾 4-1-22

TEL: 03-3400-1311 FAX: 03-3409-1604

担当: 放射線腫瘍科 野中哲生